

景観まちづくりワークショップ結果

－目次－

1. 第1回景観まちづくりワークショップの結果.....	1
2. 第2回景観まちづくりワークショップの結果.....	7
3. 第3回景観まちづくりワークショップの結果.....	12
4. 景観まちづくりワークショップの開催案内.....	17

1. 第1回景観まちづくりワークショップの結果

(1) 景観まちづくりワークショップニュース Vol.1

景観まちづくりワークショップニュース

Vol.1

発行：行田市 発行日：2013年11月
秩父鉄道行田市駅

行田市では、市民の皆さんと一緒に市内の景観やにぎわいについて考えてきたいと思い、「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」をテーマに、歴史的建築物が集積し、中心市街地である秩父鉄道行田市駅周辺を対象エリアとして、4回の景観まちづくりワークショップを実施しています。

第1回景観まちづくりワークショップとなる今回は〈10月19日（土）〉、対象エリアのまち歩きを実施しました。まち歩きでは点在する歴史的建築物やまち並み、にぎわいについて見て回り、その後、グループに分かれ対象エリアの魅力と問題点を出し合い、意識の共有と意見交換をしました。



〈ワークショップ参加者から頂いた対象エリアの魅力と問題点の概要〉

◆まち並みについて

- ・様々な時代の建物が混在するまち並みである。
- ・魅力的な路地が沢山ある。
- ・蓮華寺通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- ・国道125号の童・銅人形が景観的に良い。
- ・空き家や空地が目立ち、古い建物が壊れている所があり、景観的に悪印象である。
- ・商店街のアーケードによって、建物の外観が見えない。

◆にぎわい・観光について

- ・忍城址や歴史的建築物など観光資源は沢山ある。
- ・点在する観光資源をつなげることが大事である。
- ・観光資源への案内板や観光ルートの整備を図るべきである。
- ・休憩場所、飲食店、土産物店、宿泊施設、駐車場が少ない。
- ・商店街がシャッター街となっており、寂しい印象である。

◆歴史的建築物について

- ・歴史あるまち並みや建物が残っており、重要な地域資源である。
- ・観光に活かせるよう保存・活用や情報発信が必要である。
- ・歴史的建築物の案内表示がなく、建物がある場所がわからない。
- ・看板やアーケードによって歴史的建築物の外観が隠れており、もったいない。
- ・忍城址などの資源同士のつながりが無い。



（２）第１回景観まちづくりワークショップの意見集計結果

第1回展覧会まちづくりワークショップの意見集計結果（速報値）

参加者の方々に頂いた主な意見内容

凡例 ○：魅力、●：問題点、◇：提案

【秩父鉄道行田市駅周辺】

- まちづくりに行田市駅が活用されており、ネットワークがない。
- 休憩できる場所がない。

【蓮華寺通り周辺】

- 通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- そば打ち教室等の地域の交流の場がある。

【江北台橋丁周辺】

- 空が無い。
- 様々な建物が並び、面白い通りである。
- 暗く、にぎわいがない印象。
- 建物の古く化、統一感がない街並みである。

【国道 125 号沿い】

- 電柱や電線がなく、スッキリしており、華やかな印象に似ている。
- 通行量の多いメインストリートであるため、市を PR する絶好のポイントである。
- 雑草地や空き地が目立つ。
- 古く化している家屋、放置されたのり根が歴史的に似合わない。

【新井町駅前】

- 賑わいがある洋館が良い。
- 緑い路地が素敵である。
- 建物が建つ通称がわかりづらく、賑わいがない。

【新田通り（商店街）】

- 商店街のアーケードが残っている。
- 空き店舗や空き家が目立ち、にぎわいがない印象である。
- アーケードによって統一感が感じられるが、建物の表面が見えにくい。
- 歩道がでこぼこしており歩きにくい。
- 新築の出店がしなくなる工夫が必要。

【日新商店街周辺】

- 城下町の名残である建物の通りが面白い。
- 古く化した建物の再活用が可能である。
- 壊れかけた建物が目立ち、歴史的に良くない。
- 歴史的建築物を活用すべきである。

【忍城址・八幡神社】

- 忍城址と八幡神社など、自然園地とのつながりがない。

【秩父鉄道行田市駅周辺】

- まちづくりに行田市駅が活用されており、ネットワークがない。
- 休憩できる場所がない。

【蓮華寺通り周辺】

- 通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- そば打ち教室等の地域の交流の場がある。

【江北台橋丁周辺】

- 空が無い。
- 様々な建物が並び、面白い通りである。
- 暗く、にぎわいがない印象。
- 建物の古く化、統一感がない街並みである。

【国道 125 号沿い】

- 電柱や電線がなく、スッキリしており、華やかな印象に似ている。
- 通行量の多いメインストリートであるため、市を PR する絶好のポイントである。
- 雑草地や空き地が目立つ。
- 古く化している家屋、放置されたのり根が歴史的に似合わない。

【新井町駅前】

- 賑わいがある洋館が良い。
- 緑い路地が素敵である。
- 建物が建つ通称がわかりづらく、賑わいがない。

【新田通り（商店街）】

- 商店街のアーケードが残っている。
- 空き店舗や空き家が目立ち、にぎわいがない印象である。
- アーケードによって統一感が感じられるが、建物の表面が見えにくい。
- 歩道がでこぼこしており歩きにくい。
- 新築の出店がしなくなる工夫が必要。

【日新商店街周辺】

- 城下町の名残である建物の通りが面白い。
- 古く化した建物の再活用が可能である。
- 壊れかけた建物が目立ち、歴史的に良くない。
- 歴史的建築物を活用すべきである。

【忍城址・八幡神社】

- 忍城址と八幡神社など、自然園地とのつながりがない。

【秩父鉄道行田市駅周辺】

- まちづくりに行田市駅が活用されており、ネットワークがない。
- 休憩できる場所がない。

【蓮華寺通り周辺】

- 通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- そば打ち教室等の地域の交流の場がある。

【江北台橋丁周辺】

- 空が無い。
- 様々な建物が並び、面白い通りである。
- 暗く、にぎわいがない印象。
- 建物の古く化、統一感がない街並みである。

【国道 125 号沿い】

- 電柱や電線がなく、スッキリしており、華やかな印象に似ている。
- 通行量の多いメインストリートであるため、市を PR する絶好のポイントである。
- 雑草地や空き地が目立つ。
- 古く化している家屋、放置されたのり根が歴史的に似合わない。

【新井町駅前】

- 賑わいがある洋館が良い。
- 緑い路地が素敵である。
- 建物が建つ通称がわかりづらく、賑わいがない。

【新田通り（商店街）】

- 商店街のアーケードが残っている。
- 空き店舗や空き家が目立ち、にぎわいがない印象である。
- アーケードによって統一感が感じられるが、建物の表面が見えにくい。
- 歩道がでこぼこしており歩きにくい。
- 新築の出店がしなくなる工夫が必要。

【日新商店街周辺】

- 城下町の名残である建物の通りが面白い。
- 古く化した建物の再活用が可能である。
- 壊れかけた建物が目立ち、歴史的に良くない。
- 歴史的建築物を活用すべきである。

【忍城址・八幡神社】

- 忍城址と八幡神社など、自然園地とのつながりがない。

【秩父鉄道行田市駅周辺】

- まちづくりに行田市駅が活用されており、ネットワークがない。
- 休憩できる場所がない。

【蓮華寺通り周辺】

- 通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- そば打ち教室等の地域の交流の場がある。

【江北台橋丁周辺】

- 空が無い。
- 様々な建物が並び、面白い通りである。
- 暗く、にぎわいがない印象。
- 建物の古く化、統一感がない街並みである。

【国道 125 号沿い】

- 電柱や電線がなく、スッキリしており、華やかな印象に似ている。
- 通行量の多いメインストリートであるため、市を PR する絶好のポイントである。
- 雑草地や空き地が目立つ。
- 古く化している家屋、放置されたのり根が歴史的に似合わない。

【新井町駅前】

- 賑わいがある洋館が良い。
- 緑い路地が素敵である。
- 建物が建つ通称がわかりづらく、賑わいがない。

【新田通り（商店街）】

- 商店街のアーケードが残っている。
- 空き店舗や空き家が目立ち、にぎわいがない印象である。
- アーケードによって統一感が感じられるが、建物の表面が見えにくい。
- 歩道がでこぼこしており歩きにくい。
- 新築の出店がしなくなる工夫が必要。

【日新商店街周辺】

- 城下町の名残である建物の通りが面白い。
- 古く化した建物の再活用が可能である。
- 壊れかけた建物が目立ち、歴史的に良くない。
- 歴史的建築物を活用すべきである。

【忍城址・八幡神社】

- 忍城址と八幡神社など、自然園地とのつながりがない。

【秩父鉄道行田市駅周辺】

- まちづくりに行田市駅が活用されており、ネットワークがない。
- 休憩できる場所がない。

【蓮華寺通り周辺】

- 通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- そば打ち教室等の地域の交流の場がある。

【江北台橋丁周辺】

- 空が無い。
- 様々な建物が並び、面白い通りである。
- 暗く、にぎわいがない印象。
- 建物の古く化、統一感がない街並みである。

【国道 125 号沿い】

- 電柱や電線がなく、スッキリしており、華やかな印象に似ている。
- 通行量の多いメインストリートであるため、市を PR する絶好のポイントである。
- 雑草地や空き地が目立つ。
- 古く化している家屋、放置されたのり根が歴史的に似合わない。

【新井町駅前】

- 賑わいがある洋館が良い。
- 緑い路地が素敵である。
- 建物が建つ通称がわかりづらく、賑わいがない。

【新田通り（商店街）】

- 商店街のアーケードが残っている。
- 空き店舗や空き家が目立ち、にぎわいがない印象である。
- アーケードによって統一感が感じられるが、建物の表面が見えにくい。
- 歩道がでこぼこしており歩きにくい。
- 新築の出店がしなくなる工夫が必要。

【日新商店街周辺】

まち並みAグループ

A: 〇使族の土地があり、新たな土地利用が可能である。

B: 〇市街地から商業センターまで開けた感じがする。

〇家電店にかかっているカーブが良い！もっと行田をPRするツールにしてはどうか？

〇歩道の石畳は雰囲気があって良い！

〇国道125号は通行量が多いので、行田をPRする絶好のポイントである！

●設置された旗のぼり旗がある。

C: 〇老朽化した建物が設置されている。

D: 〇せまいが型の通りの通りは先が見えず、ワクワクする。

〇長さがめずらしい。

〇老朽化した建物の再活用が可能。

●壊れかけた家が目立つ。●廃墟が見受けられる。

E: 〇旗がそのまま残り、新しいお店になっている。

F: 〇閉店している店舗が多い。

●アーケード街も老朽化している。

●商店街のシャッターが閉じており、まち並みや観光客の目点からマイナスだと感じた。

●街路樹、電線、アーケードを撤去すべきだ。

〇若い人が出店しやすいように賃料を安くしてはどうか。

〇アーケードや看板を取り除く方が魅力的な街になる。

G: 〇旗あり、商店あり... 時代の流れを感じる雰囲気が良い！

〇ほどよく“腐れた”感じが良い！

●建物の保存の仕方が場所によって異なる。

●旗などのアベールがあまりない。

〇ミュージアムとして活用してはどうか。

H: 〇本場に写真館を構ってもいいくらいになる雰囲気が良いね。この写真館で写真撮影のサービスマンが欲しい。

●建物のある場所などがわかりにくい。●道が入り組んでいる割に、看板などが少ない。

【まち全体に関して】

(歴史的建築物)

〇路地に入ると歴史的な建物が各所に見られるため、観光に活かせるよう保存をしてみたい。

〇旗などの歴史的な趣きを感じる。

〇古い建物(旗)が良い状態で残っているため、もっと何らかの形で観光に役立てる事ができないか。

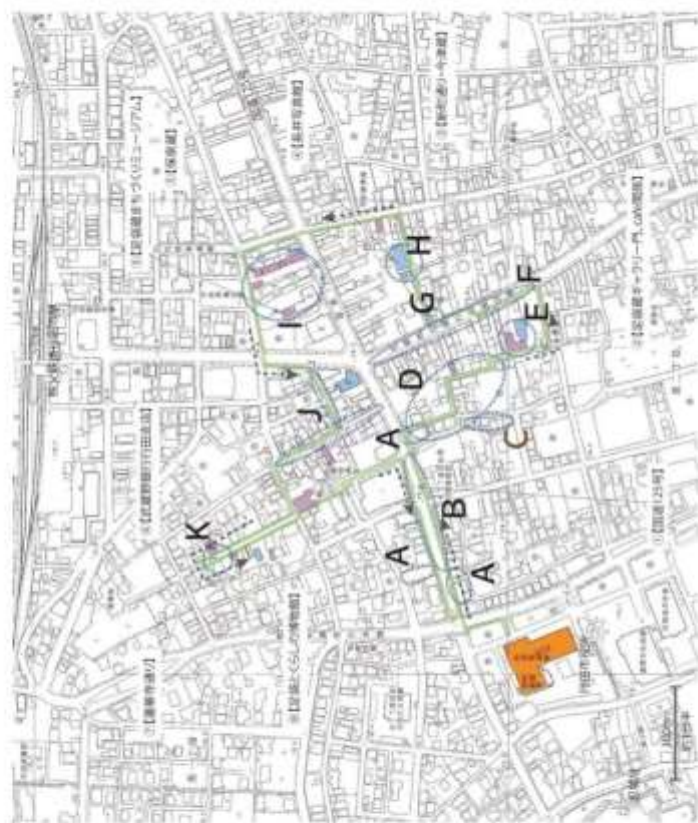
〇歴史あるまち並みや建物が残っている。

〇なつかしいまち並みがある。

〇旗が多い。

●歴史的な建物を所有する方が住んでいないので荒れている。修復が必要である。

〇古い資源を活用して、若者を惹きつけたい。



J: 〇明治、大正、昭和の建物を学習できる貴重ないわねポイントである。

K: 〇にぎわいがないが、落ち着いていてあればあれで良い！店はなくとも良いのではない。

K: 〇食をプラスアルファの取組みとして考え、まち並みのしめは「そば」としてはどうか。

(観光)

●食べ物屋、宿泊施設がない。

●様々なサインが混在している。

●サインのデザインや大きさがわかりにくい。

〇旗にかつての足袋屋の看板や看板を貼ってPRしてはどうか。

(その他)

〇散歩のしがいがある。

●道がわかりづらい。

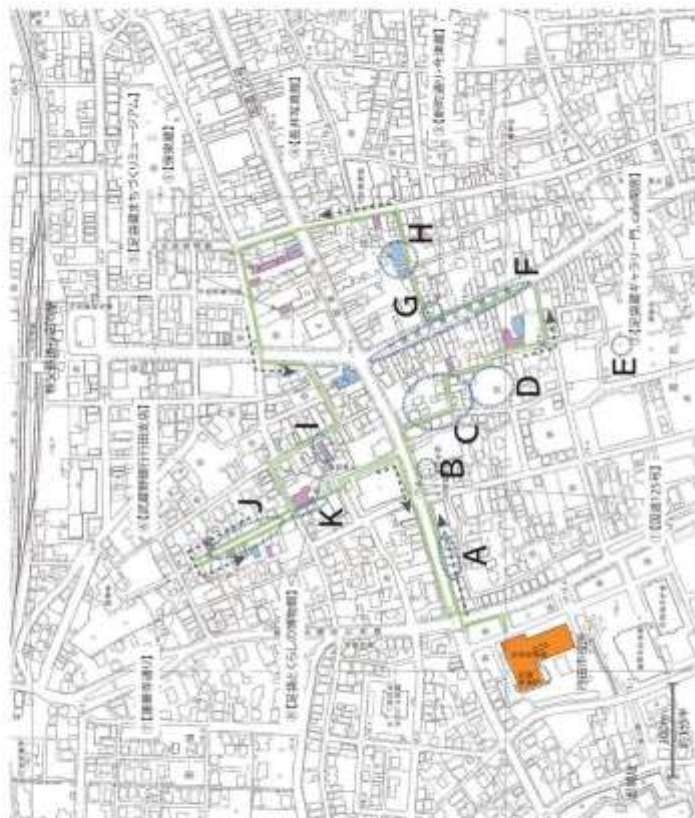
●文政と昭和の建物が混在し、中途半端なまち並みである。

〇居住者の方や市内中学生へのアンケートを実施して、若い人の意見を取り入れてみてはどうか。

まち並みBグループ

凡例 ○：魅力、●：問題点、◇提案

- A：●125号沿いの空き地に整地している雑草は除草し、駐車場として活用すべきだ。
 B：○今はない種のお墓などの写真と説明があると良い。
 ○前工センター側の駐車場と西隣の住居を保存したい。
 C：●古い建物が壊れていたりしたので、保全が必要である。
 ●一般の民家で長壁も含め、整備の必要がある。
 D：●大手町前の牛乳菜の駐車場を借りてでもよいから活用すべきだ。
 E：○大澤邸の墓を保存したい。
 F：●新町通り商店街は、アーケードによって統一感はあるが、建物の姿顔が見えにくい。
 ●新町通りは歩道の幅が狭く、段差があり、歩きにくい。
 ●点在する空き家が目障りである。
 ●アーケードが目障りである。
 G：◇アーケードを取り除き、商家の趣きを復活させた家、店をみせてはどうか。
 H：◇今津蔵をもっと宣伝と紹介をすべきだ。
 I：○当時の町や商店の歴史を活かして紹介してほしい。
 J：○牧野本店の住居を保存したい。
 ○蔵の修理がだいぶ進んでいる。
 K：○蓮華寺通りの道路が石畳道になっている。
 L：○時田蔵横は通り抜けができ、細い路地が面白い。



【まち全体に関して】

(歴史的建築物)

- 歴史ある蔵等の建物があふ。
- 歴史的建築物、特に蔵が多くが現存している。
- 歴史的にも価値があり、手入れがされている蔵が数多くある。
- 蔵の活用が可能である。特に建り堅で支えているので空間の利用がしやすい。
- 保存するために努力している建物が数多くある。家への配慮を感じる。
- 蔵というのは地味で、なかなか観光化は出来ないと思われるため、改築して何となく活用することは難しい。
- 蔵の内部は見えないが、開口が狭く奥行きのある空間をギャラリー等に改築しているが、交通が不便で集客が難しいのでは。
- 蔵については壊れているものもあり、景観的に悪いため、整頓が必要である。

(観光)

- 時々道に迷っている人を見かけるため、主要な道には看板を付け、それを示す案内があれば良い。
- 観光客が少ない。

(空き家・空き地)

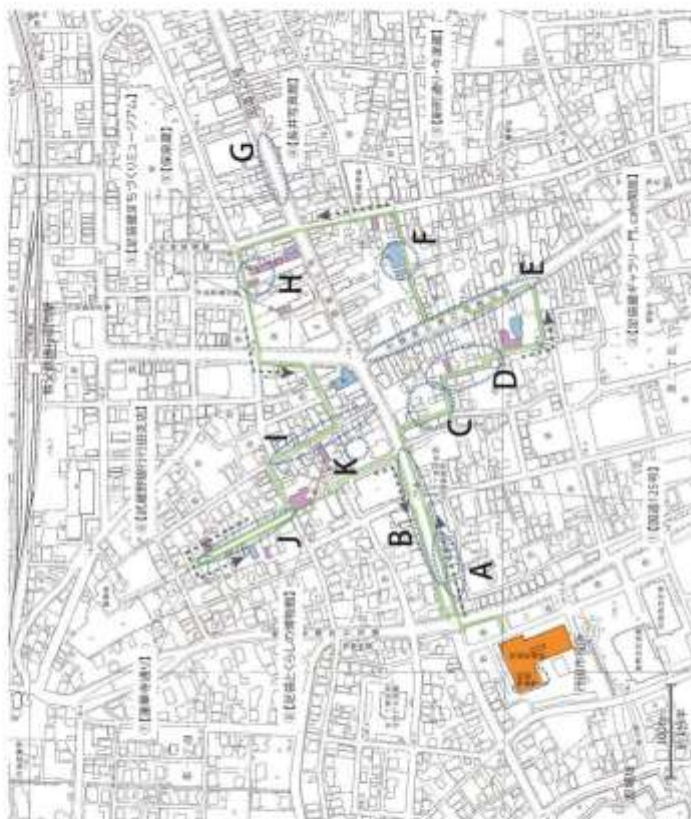
- 空き家となってしまうままにしている建物がある。
- 柱んでいない古い家が多いので、処分できないか。
- 空き家が多い。建物が古いため、手放せない。
- シャッターが降りている建物や空地、草地が良くない。

(その他)

- 道路が比較的清潔されている。
- 人が歩いていて良い。
- 昔の細い道は防災上問題となるのではないか。
- 若い人向けの建物等が少ない。
- ◇過去のまちづくりの歴史を別途、説明と紹介をしてほしい。

にぎわいAグループ

- 凡例 ○：魅力、●：問題点、◇：提案
- A：●草花地や空き地が目立つ。 ○メインストリートが広い。
 B：○電柱や電線がなく、スッキリしている。 ○メインストリートが広い。
 C：●現在はトタンが目立つため、蔵、建物にも少し手を入れたら、資源として活用しやすい。
 ●危険な家をなんとかして欲しい。 ●旧蔵家屋が目立つ。 ●古い家屋が危険。
 D：○趣味的な路
 E：○商店街のアーケードが残っている。 ○空き家、空き店舗が多く、若い経営者のチャンス。
 ●シャッターを閉めている店が多い。 他の人に貸せないのか。 ●アーケード街の景観が切れている。
 ●せっかくの蔵が見えないため、活気がないアーケードはない方がいい。 ●歩道がでこぼこで歩きづらい。
 F：○旧信用金庫、長井写真館、○沖橋に趣きがある。 Good ○長井写真館前の旧よんべん横丁が最高！
 ○小道が多い。 ○旧細道が多くある。 ○路地がすてき。 ○ゲームが出来そうな小道が沢山ある。
 G：○メインストリートにモニUMENTがある。
 H：○蔵がある。
 ●蔵が老朽化している。
 I：○色々な建物がまじっている。 ○旧北谷横丁の再生。
 ●まちなみに一体感がない。 ●建物の老朽化が進んでいる。 ●旧北谷横丁が暗い。
 J：○石畳風アスファルトは素晴らしい。 ○蓮華寺通りは歩きやすかった。
 ●古民家の改修と活用をし、可能な石畳にしてもどうか。
 K：○コンベニの外観をもっとシックな色にしてはどうか。



【まち全体に関して】

（歴史の建築物） ○資源が豊富であるため、ネットワークが重要となる。 ○色々な蔵がある。 ○賑わい、古いものをより活かしている。 ○中心市街地の蔵などを活かして、その地域全体を使ったアート展をやりたい。（行田アートビエンナーレとか） ●文化遺産、歴史を外部に発信することが少ない。マスコット、インターネットなど宣伝が苦手！ ◇建物の建造物や武家、蔵、大工の復元できれば良い。 ◇歴史的建造物のアートをしたいはどうか。	（空き家・空き地） ○既存の建物を再利用している。 ◇空き店舗で芸術活動をして、人を呼ぶ。
（観光） ○観光資源は十分にある。今日は蔵が中心であったが、古民家、古蹟、忍城址など観光資源がある。 ○行田は歴史の宝庫であり、松玉島の中では川越よりも観光の面で素晴らしい。 ●休憩できるベンチやトイレが少ない。中央公園のトイレを賑わい路に改修してはどうか。 ●外米の受け入れを考える。 ●町内表示や歴史表示がない。 ●飲食店がない。 ●リピーターを増やす工夫が足りない。 ●街中に歴史の匂いがしない。 ●観光資源を活かしていない。 ◇那で来る人が多い。バーキングの整備が必要。 ◇将来的には、JAPAN GUIDE のサイトに紹介されたい。 ◇説明板、観光ボランティア、若い人の情報提供。市と県の手置だけでなく民間のお金が集まれば良いだろう。	（その他） ○お年寄りが沢山いる。 ○文化遺産、歴史がある。 ●色々な資源が溢れ立ってこない。 ●格子戸のお宅が揃えば良い。 ●125号は広すぎて、イベントができない。 ●古民家の里に季節の花を植えてもらえたら良い。 ●中は緑が少ない。 ●夜のライトアップをし、夜も歩いて楽しいまち並みに。 ○お年寄りが集まる老人町にしてはどうか。 ◇電線地中化なども進めてはどうか。

にぎわいBグループ

凡例 ○：魅力、●：問題点、◇：課題

A：○国道歩道の車・人混み利用すべき。○車の通りが多い。

●古い民家や店が多く、無人の家屋が老朽化している。

◇道路の一方通行。

B：○円形城門近くの空地は財産である。

C：●今にも壊れそうな家が多く、景観的に悪い印象である。●古い建物が崩壊している。

D：○クラック状の生活道は城下町の名残である。○通りが面白い。

E：○アーケード街で営業店舗が多い。

●新町通りは並行面道である。●新町のアーケードは通行の邪魔になる。

●外から来た人が入りにくいのではないのか。●店のシャッターをよく見かけてしまう。

●メインストリートに人が歩いていない。●アーケードにより歩道が狭くなっている。

F：○八幡神社から市役所と城にぬける通りが狭い。

G：○行田市駅周辺に安らげる場所がない。●まちづくりに行田市駅が活用されておらず、ネットワークがない。

◇鉄道同士の連絡を図ってはどうか。

◇鉄道路道と協力し、持田・行田・東行田一帯の歴史文化ゾーンを実現する。

H：○通りが面白い。

◇足袋と歴史の博物館前の通りはほとんど閉まっているが、商店街としては成り立つため、観光通としてはどうか。

I：○質屋の振りが良い。○忍城をモチーフにしたマンホールなど細かなPRがある。

○そば打ち教室等の地域の文化の発信。○蓮華寺通りの舗装。○大宮市などで蓮華寺通りを活用する。

【まち全体に関して】

（歴史・建築物）

○一部で足袋蔵の活用がされている。

○行田伝統である家が残っている。○昔ながらの住宅様式に歴史を感じる。

○古墳、忍城址、歴史的建築物が豊富で、街中が博物館である。

○磨けば光る建物が少ない。●足袋蔵が活用されていない。

●振るミシンの音が聞こえない。●音板が建物を隠している。

◇看板の撤去をしてはどうか。

○忍城、水城公園、足袋蔵等の魅力が多いため、つながりを形成して欲しい。

◇歴史ある建物が数多く点在し、当時が想われる。点から線をつなげていきたい。

（観光）

○路地が魅力的。

●駐車場が少ない。●駐車場が少ない。

●観光案内所がわからない。

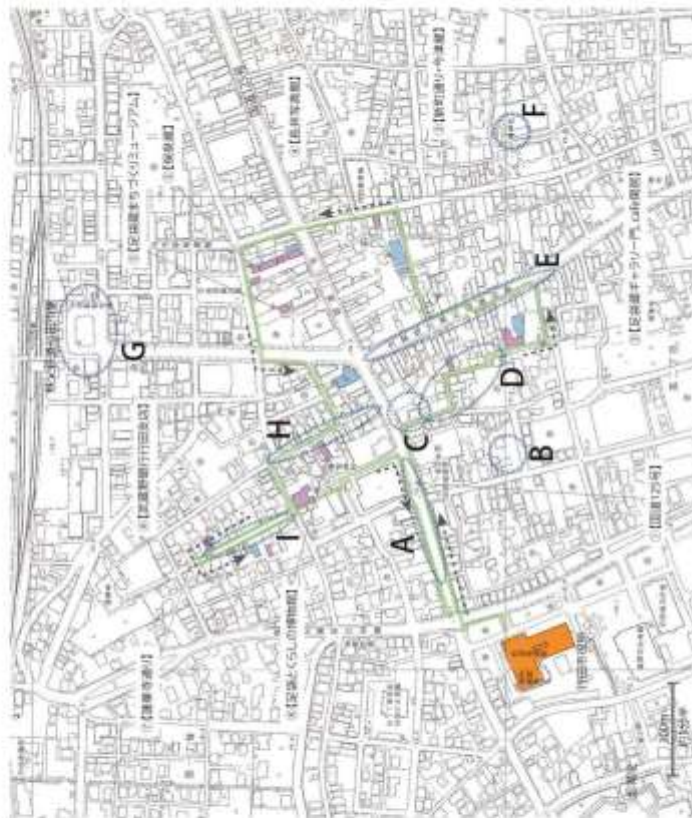
●トイレがない。●空き地に休むベンチなど欲しい。

●お土産を扱う所や食事をする所がない。●土産物風がない。

●産へと行くための案内がない。

◇観光用の大規模な駐車場が必要である。

◇団体客にとっては歩きにくい。歩道や自転車道の整備をすべき。



（空き家・空き地）

●建物の老朽化が目立つ。

●住空間が壊れかけている。

●空き家が多い。

●空き地が目立つ。

◇空き家の活用が必要がある。

（その他）

○水城公園、忍城、寺など、まちの中に緑地が多い。

○古代、中世の魅力がいっぱいある日本でも数少ないまちを活かそう。

●プロック街が見やすい。●水辺がない。

●若い人向けのファッションや飲食する場がない。

◇地形が平らで老人にやさしい町であり、災害もないため、もっとPRすべきである。

◇行田市から忍城市として発展づくりを進め、城下町道館周辺の魅力を活かす。

◇忍城 忍藩通りの発展！本丸形門大手門からの本丸に入る道を発展させて欲しい。

◇水城のまちの発展。

◇行田市民全員がもっともつと行田市の歴史を学び、誇りある「まち」にすることである。

2. 第2回景観まちづくりワークショップの結果

(1) 景観まちづくりワークショップニュース Vol. 2

景観まちづくりワークショップニュース

Vol.2

発行：行田市 発行日：2013年11月

11月2日(土)、第2回景観まちづくりワークショップが行われました。今回は、第1回のワークショップで頂いた秩父鉄道行田市駅周辺エリアの強みと弱みを活かした意見を踏まえ、「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」の2つのテーマに沿った具体的な取組み内容について考えました。

「まち並みづくり」グループは、行田らしいまち並みづくりに向けた取組み提案として、**建築物や空き地を活用、改善するための取組み等**について、「にぎわいづくり」グループは商業や観光のにぎわいづくりに向けた取組み提案として、**資源をつなぎ、観光客が回遊するための取組み等**について意見を出し合いました。各グループで出た取組み内容について発表を行い、情報共有をした後には、参加者の方々が重要と思う取組みについて、シールを貼っていただきました。



写真：ワークショップの様子

〈ワークショップ参加者から頂いた取組み内容の主な概要〉

※重要度が高かった順に、取組み内容を表しています。

○ まち並みづくりについて

ソフト的な取組み

- 高・空き地を仮設のカフェ等で一時的に利用する。
- ・住民のまち並みに対する意識や関心を高める方法を考える。
- 重要度・具体的な方針や目標をつくる。
- ・多くある寺社仏閣を観光化する。
- ・小さな路地や旧北谷横丁を活かせるように、情報発信を行う。
- ・空き店舗の活用を促すために、税金の軽減等の措置を行う。
- 低・足袋蔵をイベントで活用する。 など

ハード的な取組み

- 高・空き店舗、空き家を活用する。
- ・新町商店街のアーケードの撤去による商店街のまち並みづくりを行う。
- 重要度・まち並みに溶け込むような案内板や商店の看板を設置する。
- ・空き地に植物を植える。
- 低・足袋蔵や小さな路地等の整備を行う。 など

○ にぎわいづくりにについて

ソフト的な取組み

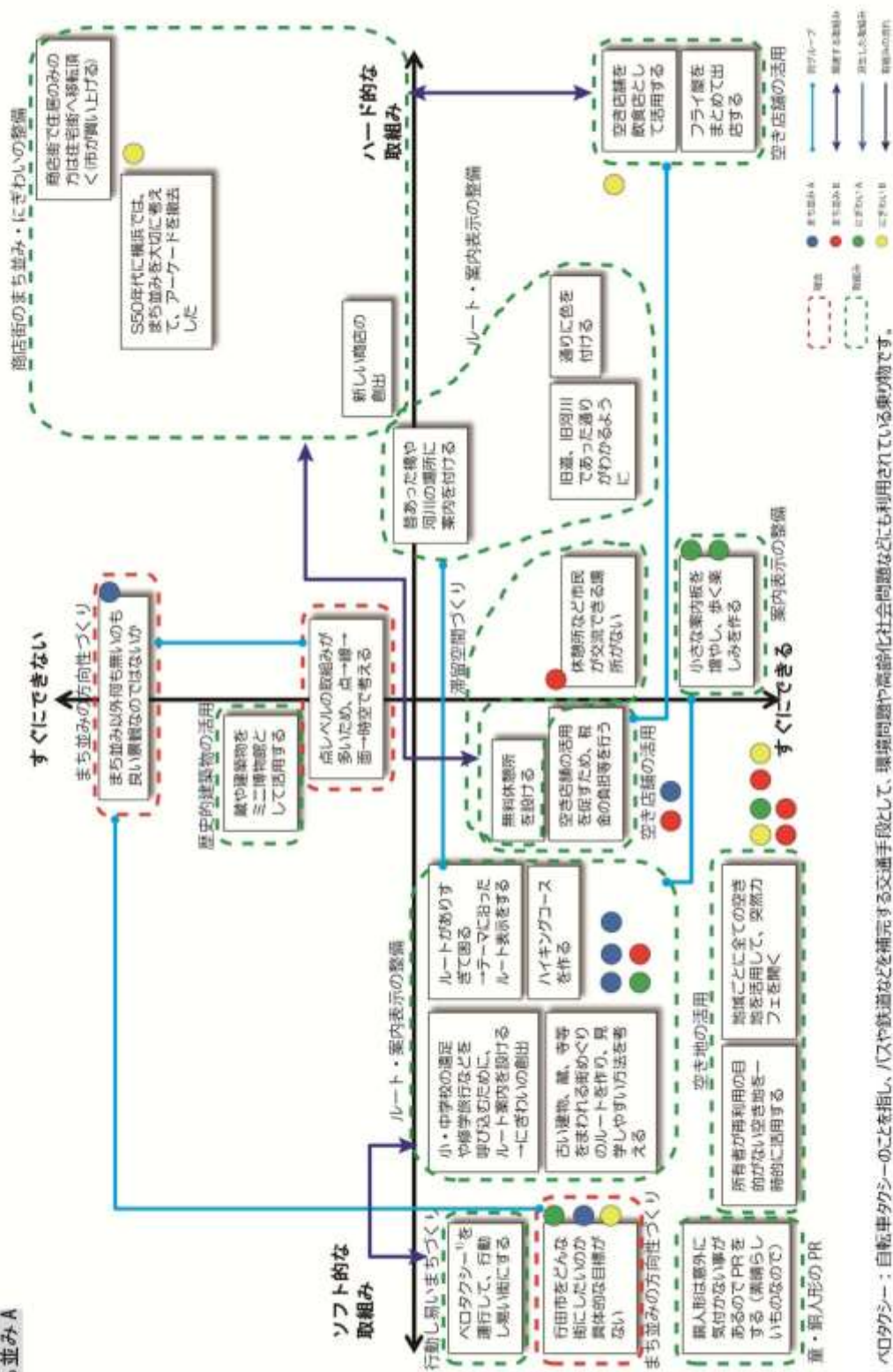
- 高・回遊ルートの整備やテーマ別のルートをつくる。
- ・まちなかのにぎわいづくりに向けたコンセプトをつくる。
- 重要度・住民による仕組みづくりや住民意識の醸成を行う。
- ・わかり易く、活用し易いマップの整備を行う。
- ・空き地、空き家、空き店舗を活用し易い様に、出店希望者、利用希望者への支援を行う。
- 低・観光資源やイベント、まち並みについての情報発信を行う。 など

ハード的な取組み

- 高・空き店舗、空き家を飲食店、休憩所、観光案内所等として活用する。
- ・歩きやすく、移動しやすい環境の整備を行う。
- 重要度・空き地をイベント時に利用できる場所や駐車場として活用し、レンタサイクルの設置を行う。
- ・名所旧跡や資源の歴史がわかる案内板を設置する。
- ・宿泊施設、飲食店、トイレ等といった滞在できる場所の整備を行う。
- 低・商店街や街なか等でイルミネーションを実施する。 など

第2回景観まちづくりワークショップの意見集計結果

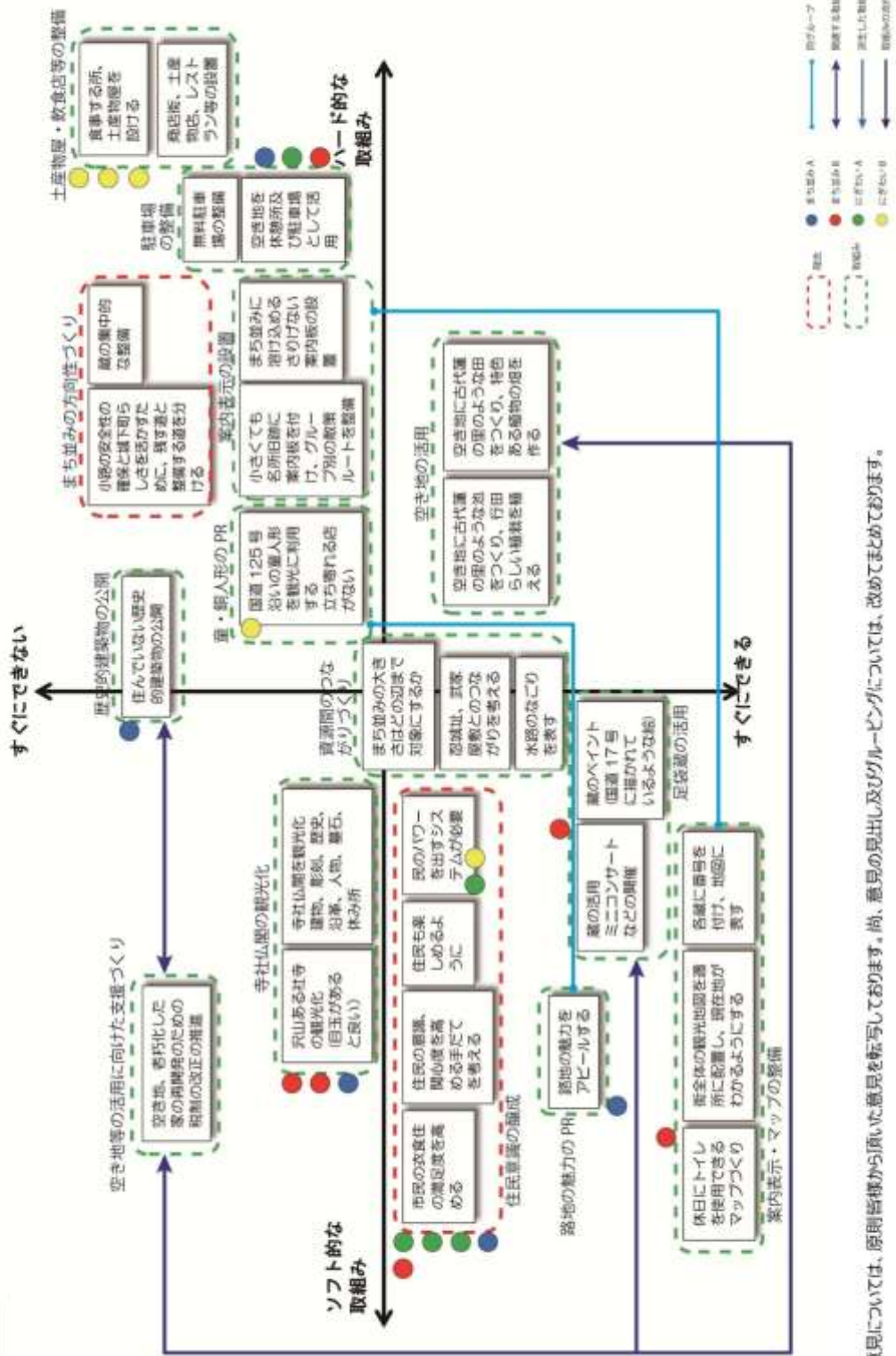
まち並み A



1) ペロタクシー：自転車タクシーのことを指し、バスや鉄道などを補完する交通手段として、環境問題や高齢化社会問題などにも利用されている乗り物です。

※意見については、原則皆様から頂いた意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグループイングについては、改めてまとめております。

まち並み B



※意見については、原則皆様から頂いた意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグループについては、改めてまとめております。

[illegible]

3. 第3回景観まちづくりワークショップの結果

(1) 景観まちづくりワークショップニュース Vol. 3

景観まちづくりワークショップニュース

Vol.3

発行：行田市 発行日：2013年11月

11月16日（土）、第3回景観まちづくりワークショップが行われました。今回は、第2回のワークショップで頂いた「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」の2つのテーマに沿った具体的な取組みに関する意見を踏まえ、具体的なプロジェクトを選定し、プロジェクトの内容に沿ったアクションプラン（誰が、どこで、何を、いつやるのか）について考えました。

「まち並みづくり A」グループは、**新町通りと裏道通りを考えるプロジェクト**と題し、新町通りと路地を地域や行政が主体となり歴史的な雰囲気を感じられる様にまち並みを整える取組みを考え、「まち並みづくり B」グループは、**たくさんの人がつどい・出会う本町通り界わいプロジェクト**と題し、空き地や空き店舗等を活用した休憩所の設置等の取組みを考えました。

「にぎわいづくり A」グループは、**旧北谷横丁プロジェクト**と題し、旧北谷横丁の空き家等を地域で調査し、団体や事業者がふらい横丁を設置及び運営を行う具体的な取組みを考え、「にぎわいづくり B」グループは、**地域資源をつなぐネットワークプロジェクト**と題し、にぎわいづくりに関する具体的なテーマや取組みを考えました。

ワークショップの最後には、各グループで出たアクションプランの内容について発表を行い、情報共有を行いました。



〈各グループのアクションプランの内容の主な概要〉

まち並みづくり A

〈新町通りと裏道通りを考えるプロジェクト〉

- ・まち並みに溶け込めるデザイン性のある案内表示や水路であった案内表示を設置する。
- ・路地の舗装を石畳にする。
- ・空き家等を休憩場所や商店として活用する。
- ・ハード的な整備は行政が主体となって取組む。
- ・地域が主体となり、路地沿いの花と緑を増やし、手入れも行っていく。

まち並みづくり B

〈たくさんの人がつどい・出会う 本町通り界わいプロジェクト〉

- 【空き地や空き店舗の活用】
- ・休憩所として活用する。
 - ・お年寄りが集えるコミュニティスペースとして活用する。
 - ・発表などの活動を行う。
 - ・駐車場として活用する。
 - ・空き地や沿道に蓮を植える。

にぎわいづくり A

〈旧北谷横丁プロジェクト〉

- ・空き家等を活用し、高齢者も利用し易く、長居出来る空間をつくる。
- ・地域が主体となり、利用できる空き家等を1軒1軒回り、借りられそうか確認を行う。
- ・生鮮食料品を販売する商店は始めにくい為、ブランド食材の販売を行う。
- ・団体が主体となり、ふらい横丁をつくり、様々なふらい屋が来店するアンテナショップを運営する。

にぎわいづくり B

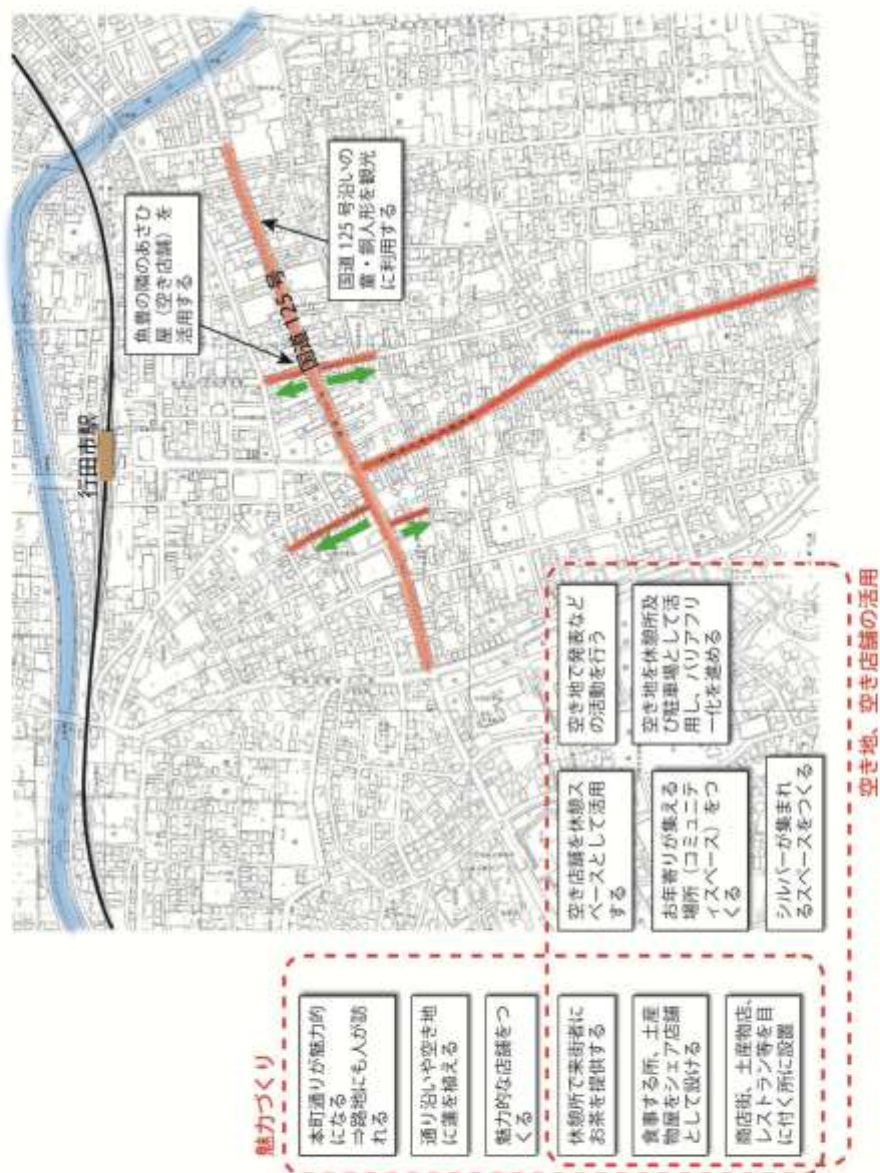
〈地域資源をつなぐネットワークプロジェクト〉

- 【テーマに沿ったルートづくり】
- ・各時代をテーマにしたルートや拠点をつくる。
 - ・文学や食を視点としたルートをつくる。
 - ・市内の寺社仏閣や碑をつないだルートをつくる。
 - ・童・銅人形を活用した、ストーリー性のあるルートをつくる。
 - ・忍川で秩父鉄道の駅間をつないだ、散策できるルートをつくる。
 - ・空き店舗や空き地を休憩所や物産館として活用する。

まち並みA 『新町通りと裏道通りを考える プロジェクト』

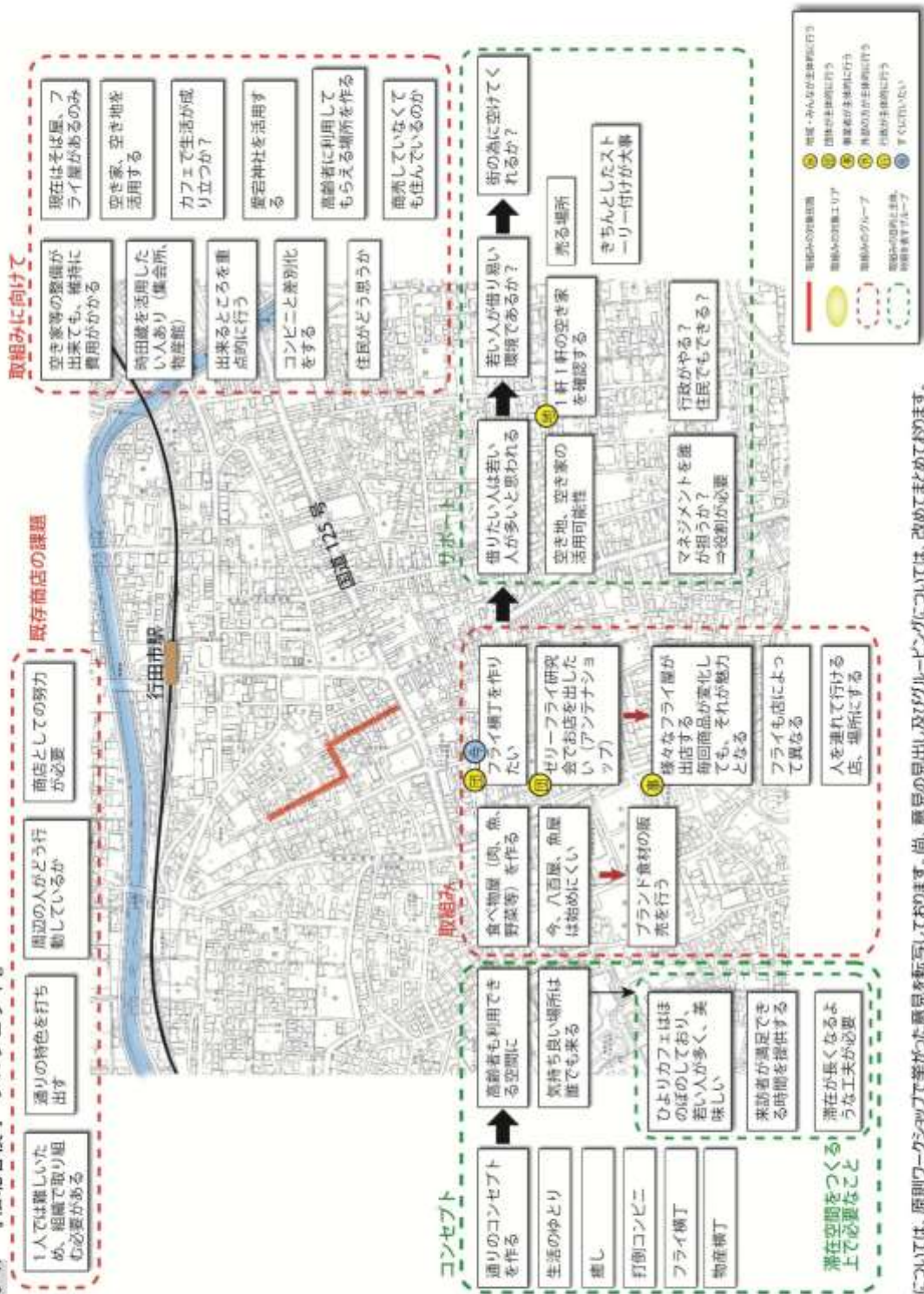


まち並みB 『たくさんの人がつどい・出会う 本町通り界わい プロジェクト』



※意見については、原則ワークショップで集った意見を転写しております。尚、意見の見出し及びタイトルについては、改めてまとめております。

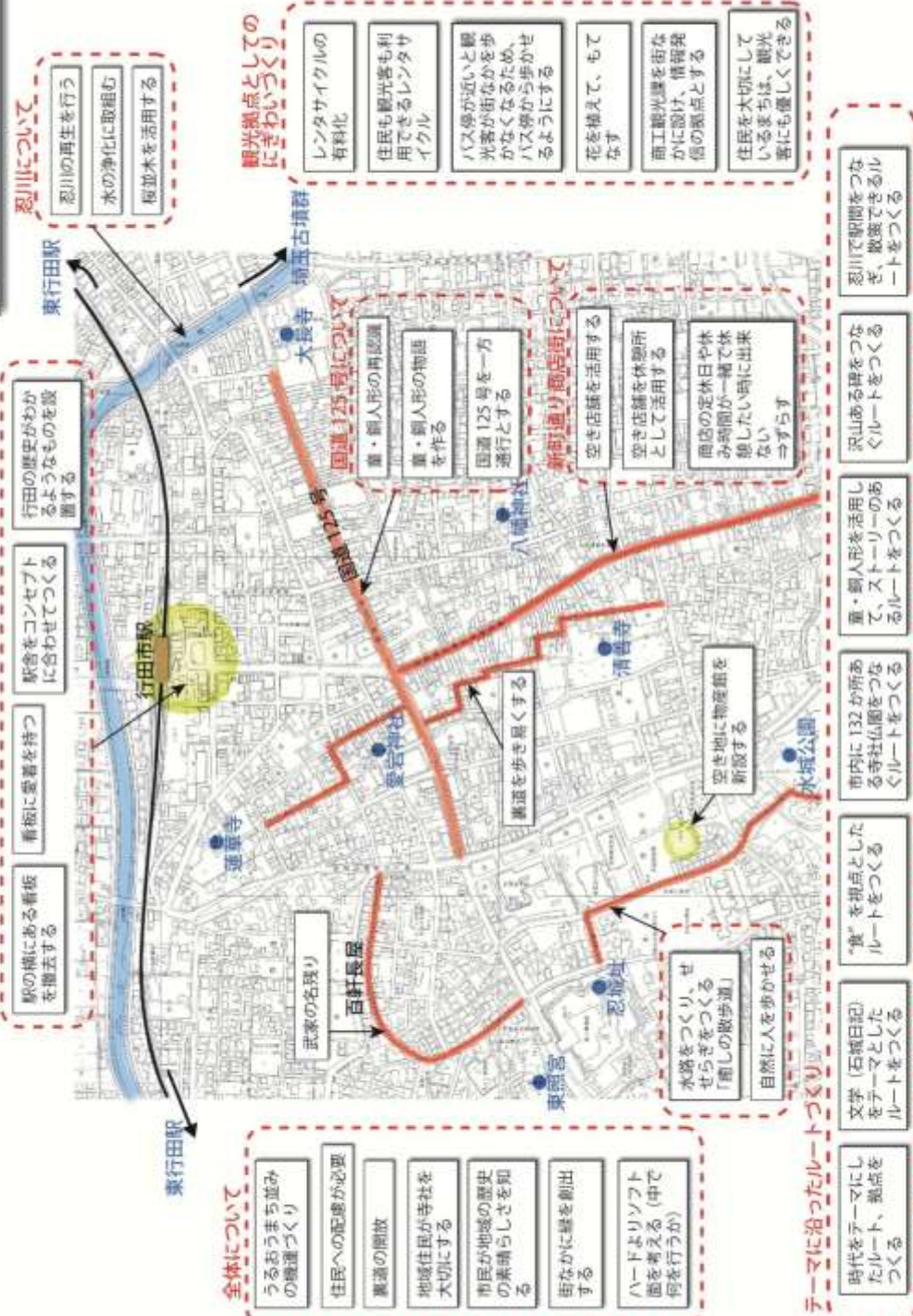
にぎわいA 『旧北谷横丁プロジェクト』



※意見については、原則ワークショップで挙がった意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグループ・ピングについては、改めてまとめております。

[illegible]

行田市駅周辺について



※意見については、原則ワークショップで挙がった意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグループ・ピングについては、改めてまとめております。

4. 第4回景観まちづくりワークショップの結果

(1) 景観まちづくりワークショップニュース Vol. 4

景観まちづくりワークショップニュース

Vol.4

発行：行田市 発行日：2013年12月

11月30日（土）、第4回景観まちづくりワークショップが行われました。今回は、第3回のワークショップで各グループが考えた、具体的なプロジェクトの内容に沿ったアクションプラン（誰が、どこで、何を、いつやるのか）をもとに、自分の立場で取り組める事や他の立場の方に取り組んで頂きたい事を考えました。

「まち並みづくり A」グループは、〈**新町と裏道から見た、自分たちが出来る事**〉として、住民が主要な主体者として、事業者・団体、大学との連携を図りながら、新町通りや路地等の清掃やマップづくり等に取り組んでいく事を考え、「まち並みづくり B」グループは、〈**空き地を活用する**〉として、空き地を活用するための組織の立ち上げを提案し、組織の運営のために必要な空き地を貸す側と使う側の意識について考え、更に、空き地を使う側の使い方を想定し、そこで自分たちに何が出来るかを考えました。

「にぎわいづくり A」グループは、〈**旧北谷横丁の空き地等を活用した、ふらい横丁の実現に向けて**〉として、所有者や借り手の意識の醸成や、所有者と借り手を結び、運営の支援を行うまちづくり会社の設立についての取組みを考え、「にぎわいづくり B」グループは、〈**にぎわいづくりを進める上でのテーマと関係主体の取組みを考える**〉として、食や歴史等様々なテーマについて、住民、団体、行政等が協働で行う取組みを考えました。

各グループで出た内容については発表を行い、全4回の景観まちづくりワークショップは終了しました。



〈各グループの提案内容の主な概要〉

まち並みづくり A

新町通りと裏道通りを考えるプロジェクト

〈**新町と裏道から見た、自分たちが出来る事**〉

- ・住民が中心となって、路地等の清掃や花を植え、手入れを行う等の活動に取り組む。
- ・大学は、路地の資源等を調べ、マップを住民と共に作成したり、資源の活用の企画や、景観を考え作っていく活動に取り組む。
- ・事業者や団体は、足袋蔵等の保存・活用の手助けをし、若者が溜まれる場としてカフェ等を作る。
- ・行政は、上記の3者が活動しやすい様に支援をする。

など

まち並みづくり B

たくさんの人がつどい・出会う

本町通り界わいプロジェクト

〈**空き地を活用する**〉

- ・誰もが気軽に参加できる組織や機会が必要である。
- ・空き地を貸す側は、資金面等の課題はあるが、雑草が生えるよりは、誰かに貸した方が良い。
- ・空き地を使う側は、市内外の人がくつろげ、学生や住民がイベントを気軽に行える空間を作っていく。
- ・住民は空き地の清掃や場所の提供、イベントの手伝い等をして、地元の意欲を盛り上げる。

など

にぎわいづくり A

旧北谷横丁 プロジェクト

〈**旧北谷横丁の空き地等を活用した、**

ふらい横丁の実現に向けて〉

- ・初めに、住民、所有者の意識を把握し、更に、借り手の意識を醸成する事を住民と大学が担い手となり行う。
- ・取組みを進める上では所有者と借り手の間に入る組織が必要となる。
- ⇒まちづくり会社を作る
- ・まちづくり会社は、地域を良く知る人や商店街、大学等が運営を行い、経営支援や借り手のコンセプトの審査、PR活動に取り組む。

など

にぎわいづくり B

地域資源をつなぐネットワーク プロジェクト

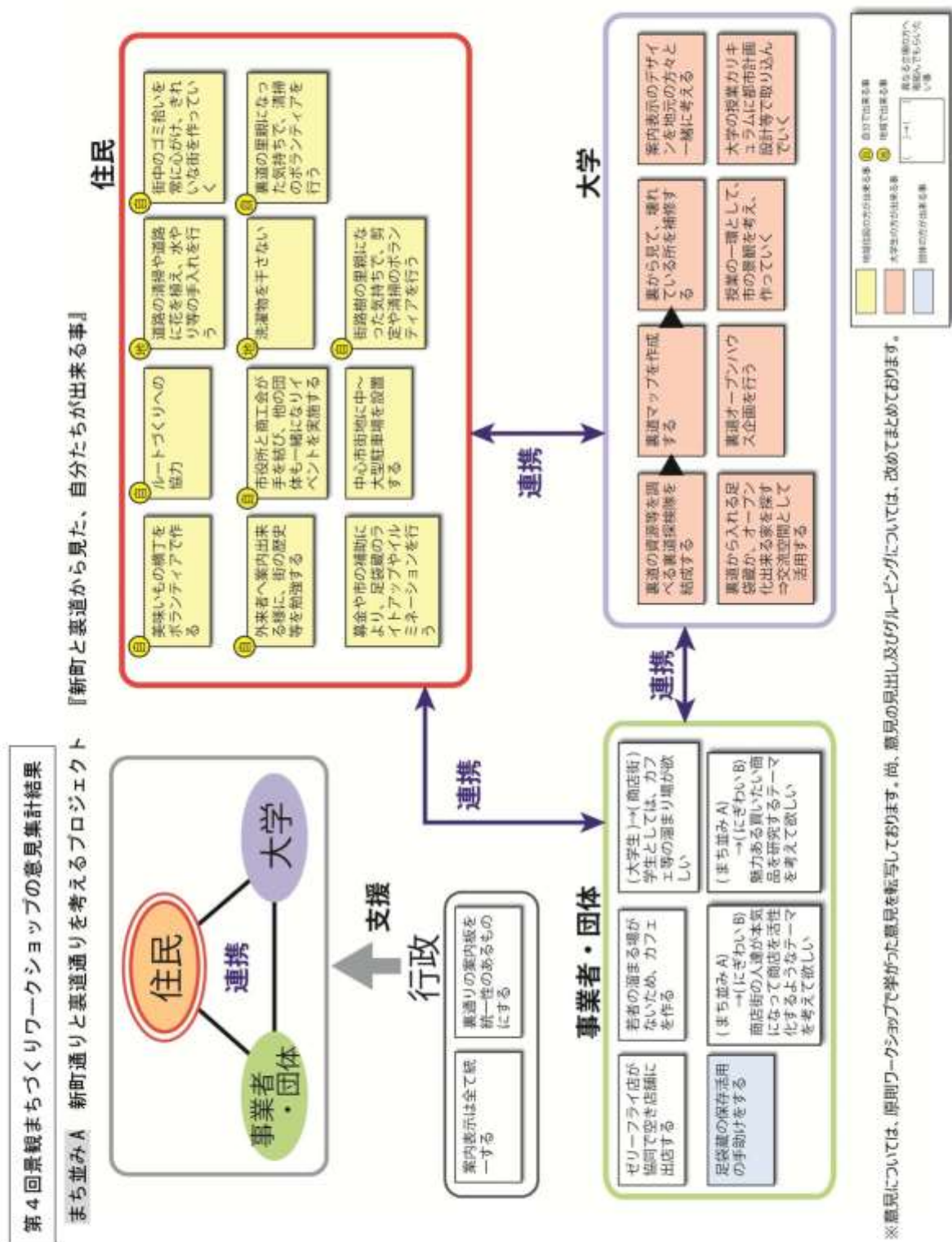
〈**にぎわいづくりを進める上での**

テーマと関係主体の取組みを考える〉

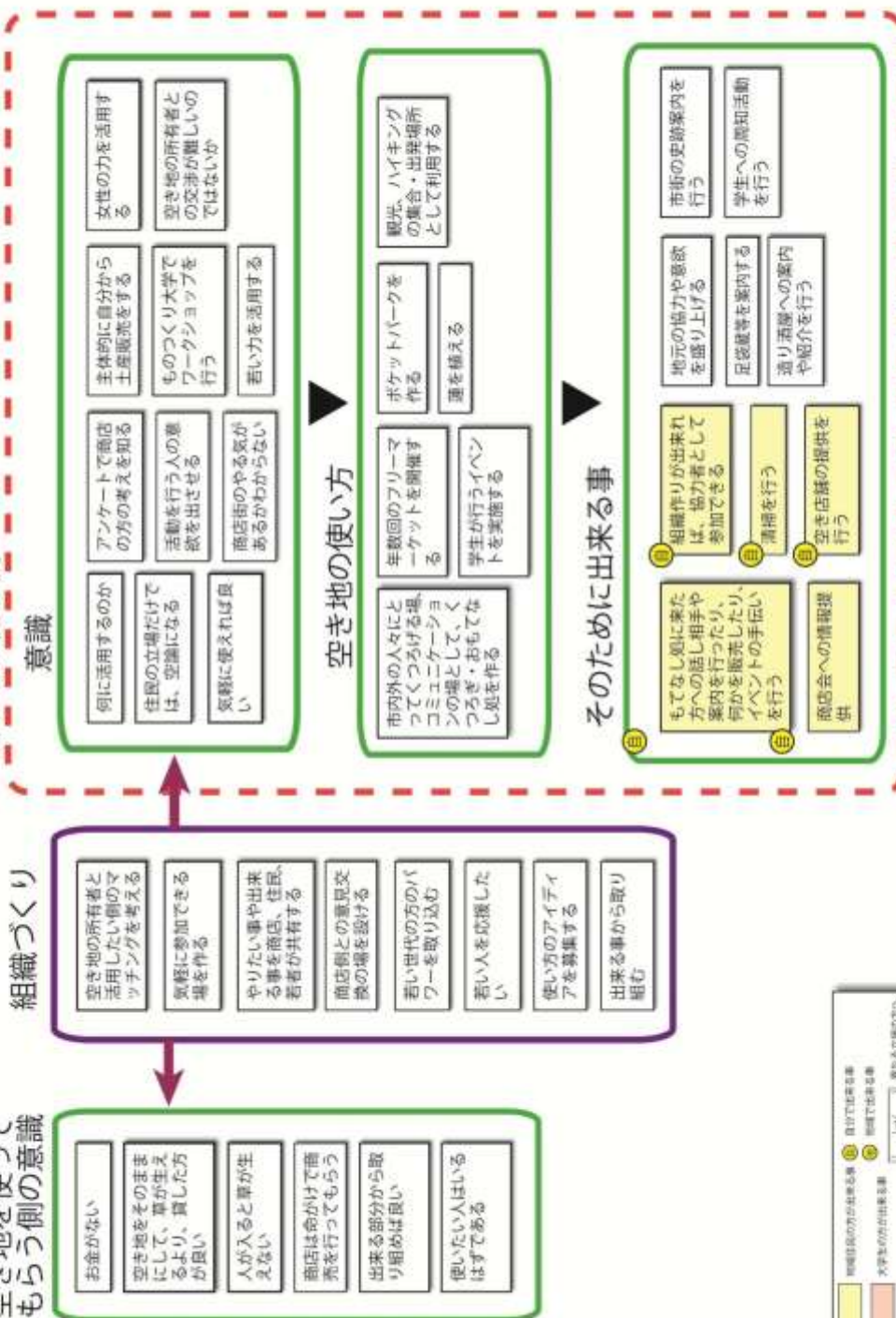
- ・食（テーマ：以下同様）：B級グルメが集まる横丁を団体が作る。
- ・空き店舗：住民、団体、行政で協議会を設け、活用を行う。
- ・歴史：各時代をテーマに、お祭りの開催等を行う。
- ・水：水辺の清掃を行い、住民や行政が水に関する取組みを行うプロジェクトチームを作る。
- ・童・観人形：遊びが体験できる空間等を形成する。
- ・ネットワーク：マップやルートを住民、団体、行政が協働で作る。

など

(2) 第4回景観まちづくりワークショップの意見集計結果



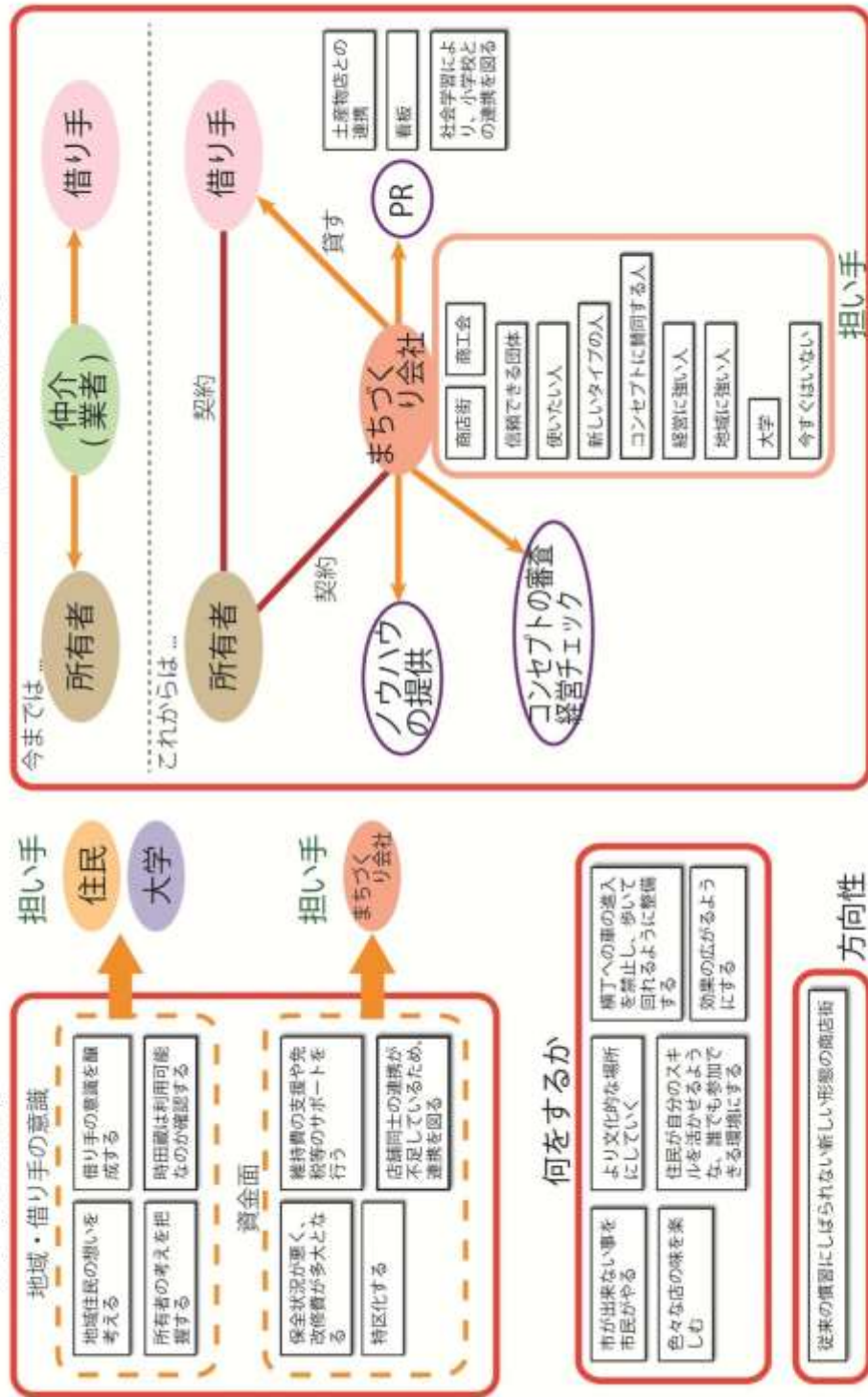
空き地を使う側



※意見については、原則ワークショップで挙がった意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグループピングについては、改めてまとめております。

にぎわいA 旧北谷横丁プロジェクト 『旧北谷横丁の空き地等を活用した、ふらい横丁の実現に向けて』

まず取り組み事



※意見については、原則ワークショップで挙がった意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグルーピングについては、改めてまとめております。

にぎわいB 地域資源をつなぐネットワークプロジェクト 『にぎわいづくりを進める上でのコンセプトを考える』

テーマ	取組み		
	住民	団体	行政
食 (コンセプト) ・ふらい、ゼリーフライ等のB級グルメを活かす ・フライ調理を作る ・石城日記の献立を基にした、食のまちづくりを行う	飲食店、ふらいや他地区のB級グルメが集まるグルメ構丁(仮称)を作る	協議会の設置 NPO がボランティアによる活動や取組みを行う	補助金を出し、財政を支援する
	空き店舗 (コンセプト) ・行田市駅を中心としたまちづくりとして、中心部に商店街を再構築する ・空き店舗の活用を行う	空き店舗、商店(組合、市民、市で協議会を設置する) 行政が補助し、NPO がボランティアを行い、空き店舗を活用する 若者やものづくり大の学生が活用する アイディアや事業主を公募する 空き店舗、空き地を休憩所、物産館として活用する 観光課が中心となりシェアショップを企画する	協議会の設置 アイディアや事業主を公募する 観光課が中心となりシェアショップを企画する
ネットワーク (コンセプト) ・忍城址、足袋蔵等への案内の回遊ルートづくり ・北谷橋丁のにぎわい創出を行う ・路地歩き ・異種、異種をつなぐ人や道、水廻り、情報のネットワークづくり	重・個人形を活かしたルートを作る 城下町特有の道づくり	ネットワークについて、住民、団体、行政が考えるワークショップの実施	ルートの設定、マップの作成を行う 石蔵などのハード整備を行う
	協働 (コンセプト) ・観光地に向けて、熱かな暮らしを求める住人の理解がないとトラブルになるため、協働の意識の醸成が必要	千葉県柏市で東京大学の研究室が求めるNPOの運動の様に、ボランティア運営を行う 女性、若者、市民大手等で異種交流を行う	市のビジョンやデータ(目安でない数字で)を市役所や自治会を通じて発信をし、周知を行う 行政は全体を動かす仕組みづくりを行う

※意見については、原則ワークショップで挙がった意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグループングについては、改めてまとめております。

取組み 団体			
テーマ	住民	行政	
歴史 〈コンセプト〉 ・城、寺社仏閣、足利殿等の歴史 (物園) 巡り ・水城の街の歴史文化ゾーン ・古代～現代まで歴史をテーマとし たまちづくり →第一段階として、行田市駅を中心としたルートづくりを行う ・各時代をテーマとする	観光案内を行う 住民が物園を作り、 語る	寺社仏閣の歴史表示 をする 仏教協会の有志で団 体を作る 事前ごとにお祭りを 開催する 歴史をテーマとした お祭りを開催する	旧町名(小学等) を復活する 旧行田首頭をPRす る
水 〈コンセプト〉 ・水辺沿り ・水辺を渡る物語づくり ・水に守られた街	本町地区や忍地区で 水をテーマにしたま ちづくりを行うため の協議会を設ける 水辺の清掃を行う	水城まちづくり協議 会を中心に公衆する 水辺の植物や動物を 紹介する	水辺の整備やイベン トの実施、パンフレ ット 市内で部内横断した プロジェクトチーム を作る 夏場農業用水が流れ ている水路を冬場も 水を流す(大沼) 忍城～水城公園等の 水路の再生を行う
童人形 〈コンセプト〉 ・昭和の子どもたち(童・雛人形) が住まう街	昔の遊びを体験して もらう ストーリーづくりを 行う	空き店舗を遊び広場 として用意する 空き店舗を遊び広場 として用意する	市内の作品を自由に 展示、販売できる場 所を用意する

※意見については、原則ワーキングショップで挙がった意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグループについては、改めてまとめております。

5. 景観まちづくりワークショップの開催案内

(1) 第1回景観まちづくりワークショップ開催案内



みんなで考えてみよう!!
**行田市駅周辺の
足袋蔵が集積するエリア
景観まちづくり
ワークショップ**

●ワークショップの流れ・内容●

第1回 10月19日(土) 午後2時～5時
会場：行田市役所 3階305会議室
・みんなで足袋蔵が集積するエリアを歩いてみて、エリアの魅力と問題点を出し合おう！

第2回 11月2日(土) 午後2時～4時
会場：行田市役所 3階305会議室
・「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」のテーマに関連する地域資源を点検しよう！

第3回 11月16日(土) 午後2時～4時
会場：行田市産業文化会館 2階2A会議室
・第2回目のワークショップで点検した地域資源を活用する具体的な提案内容を考えよう！

第4回 11月30日(土) 午後2時～4時
会場：行田市役所 3階305会議室
・提案を今後実施していくための仕組みづくりや役割分担について考えよう！

第1回 開催日時
10月19日(土)
午後2時～5時

ワークショップとは、地域住民が中心となり地域に関わるさまざまな立場の人々が参加して、地域の課題を解決するための改善策を考えたり提案したりする集まりです。
この「行田市駅周辺の足袋蔵が集積するエリア 景観まちづくりワークショップ」では、対象エリアの「まち並み」と「にぎわい」について、自由に考え、意見を出し合い、これからの行田市駅周辺の景観まちづくり方策としてまとめます。
ぜひ、皆さまのご意見をお聞かせください。世代に関わらず、多くの方のご参加をお待ちしています。

会場



第3回の会場はここです
第1, 2, 4回の会場はここです

秩父鉄道行田市駅周辺の足袋蔵が集積しているエリアの大まかな範囲 (赤枠の内側)

お問合せ先

〒361-0052 行田市本丸2-20
行田市役所 都市整備部 都市計画課
計画担当 金子 政好、金古 国明
電話：048-550-1550
ファクス：048-553-4544
メール：toshi@city.gyoda.lg.jp

第1回から第4回のうち、すべて参加できなくても構いません。ご都合のよい回にお気軽にご参加ください。

**各回
参加自由**

(2) 第3回景観まちづくりワークショップ開催案内



みんなで考えてみよう!!
景観まちづくり
ワークショップ

第3回 開催日時
11月16日(土)
午後2時～4時

●ワークショップの流れ・内容●

第1回 10月19日(土) 開催済み
・みんなで歴史的建築物が集積するエリアを歩いてみて、エリアの魅力と問題点を出し合おう!

第2回 11月2日(土) 開催済み
・「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」のテーマに関連する地域資源を点検しよう!

第3回 11月16日(土) 午後2時～4時
会場：行田市産業文化会館 2階 2A会議室
・第2回目のワークショップで点検した地域資源を活用する具体的な提案内容を考えよう!

第4回 11月30日(土) 午後2時～4時
会場：行田市役所 3階 305会議室
・提案を今後実施していくための仕組みづくりや役割分担について考えよう!

この「景観まちづくりワークショップ」では、秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアを対象に、「まち並み」と「にぎわい」について、自由に考え、意見を出し合い、これからの行田市駅周辺の景観まちづくり方策としてまとめます。

ぜひ、皆さまのご意見をお聞かせください。世代に関わらず、多くの方のご参加をお待ちしています。

会場



お問合せ先・担当

〒361-0052 行田市本丸 2-20
行田市役所 都市整備部 都市計画課
計画担当 金子 政好、金古 国明
電話：048-550-1550
ファクス：048-553-4544
メール：toshi@city.gyoda.lg.jp

主催：行田市

第3回、第4回のうち、両方に参加できなくても構いません。ご都合のよい回に市内外問わず、お気軽にご参加ください。

**各回
参加自由
(無料)**

(3) 第4回景観まちづくりワークショップ開催案内



**みんなで考えてみよう!!
景観まちづくり
ワークショップ**

●ワークショップの流れ・内容●

第1回 10月19日(土) 開催済み
・みんなで歴史的建築物が集積するエリアを歩いてみて、エリアの魅力と問題点を出し合おう!

第2回 11月2日(土) 開催済み
・「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」のテーマに関連する地域資源を点検しよう!

第3回 11月16日(土) 開催済み
・第2回目のワークショップで点検した地域資源を活用する具体的な提案内容を考えてよう!

第4回 11月30日(土) 午後2時～4時
会場：行田市役所 3階 305会議室
・提案を今後実施していくための仕組みづくりや役割分担について考えてよう!

第4回 開催日時
11月30日(土)
午後2時～4時

この「景観まちづくりワークショップ」では、秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアを対象に、「まち並み」と「にぎわい」について、自由に考え、意見を出し合い、これからの行田市駅周辺の景観まちづくり方策としてまとめます。
ぜひ、皆さまのご意見をお聞かせください。世代に関わらず、多くの方のご参加をお待ちしています。

会場



第4回の会場はここです

秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積しているエリアの大まかな範囲(赤枠の内側)

お問合せ先・担当

〒361-0052 行田市本丸2-20
行田市役所 都市整備部 都市計画課
計画担当 金子 政好、金古 国明
電話：048-550-1550
ファクス：048-553-4544
メール：toshi@city.gyoda.lg.jp

主催：行田市

市内外問わず、お気軽にご参加ください。

**参加自由
(無料)**